

会 議 録

会議の名称	平成 28 年度 第 1 回飯塚市公立保育所・こども園あり方検討委員会
開催日時	平成 28 年 11 月 24 日（木）午後 5 時 00 分～午後 6 時 00 分
開催場所	飯塚市役所 本館 4 階「研修室」
出席委員	渡邊美智子 委員長・福間一志 委員・中竹秀博 委員・久保谷眞市 委員 白山勝也 委員・上野裕美 委員・西村亜矢香 委員
欠席委員	・石井啓子 委員
事務局職員	森田雪こども・健康部長・鈴木夏實 子育て支援課長・原 昭仁課長補佐 山上政代 保育指導主幹補・松岡貴章 総務係長・塚本由美 保育・こども園係長
会議内容	<p>(委員長)</p> <p>ただ今から平成 28 年度第 1 回飯塚市公立保育所・こども園あり方検討委員会を開催いたします。本日は第 1 回ということですので、委員の皆さま、事務局の紹介ということになっております。(委員長～委員～事務局自己紹介)</p> <p>それではレジュメの 1、幸袋こども園民間移譲について報告をお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>1 の①、幸袋こども園の民間移譲に伴う経過をご報告いたします。</p> <p>29 年 4 月 1 日から社会福祉法人三和会による運営に伴い、保護者会、法人、市との三者懇談会を、5 月 11 日・7 月 5 日・9 月 9 日の計 3 回開催いたしました。1 回目の懇談会では、法人から 5 名の参加があり法人と幸袋こども園に就任される予定の園長先生、主任保育士等のご挨拶並びにご紹介がありました。市の方からはこども健康部長、子育て支援課長ほか 6 名で参加をしております。市の方から移譲にあたっての諸条件や今後のスケジュール等についての説明をしております。保護者の方からは障がい児保育等についての考え方、園舎の立替、保護者会のあり方等についてのご質問が出ておりました。2 回目 3 回目の 3 者懇談では 1 日の保育の流れ、月・年間行事につきましてあらかじめ法人の方から一覧法表に示していただき、1 つずつ方針と保護者とのすり合わせをしていきました。その他では制服等につきまして協議を行っております。</p> <p>現在は引継ぎ保育としまして毎月 4 回ほど法人の方から園長先生をはじめ、4 人の保育士が幸袋こども園に入っております。簡単ではございますが幸袋こども園の民間移譲に伴う経過についてのご報告を終わります。</p> <p>(委員長)</p> <p>報告が終わりましたが何か質問・ご意見はないでしょうか。</p> <p>(「なし」の声あり)</p> <p>では、事務局説明のとおり了承をお願いします。</p> <p>次に菰田保育所の開所について事務局からお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>②の菰田保育所の開所についてご報告いたします。</p> <p>旧徳前保育所、菰田保育所が統合しました新菰田保育所ですが、定数が 220 名です。11 月 1 日の措置児数が 218 名となっております。菰田保育所の開所にあたりましては安全面等に注意を払い送迎用の駐車場としまして、保育所斜め前の市場の駐車場を準</p>

備いたしております。子供たちが安全に道路を横断できるように横断歩道の設置をしております。資料としましてはお手元の保育所の平面図等を添付しております。以上簡単ではございますが菰田保育所開所につきましてのご報告でございます。

(委員長)

今の報告に関しまして質問、ご意見はございませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

では、事務局報告のとおり了承をお願いします。

次に飯塚子育て支援センターの廃止について事務局の報告をお願いします。

(事務局)

③飯塚子育て支援センターの廃止についてですが、④の街なか子育てひろばの移転開設との関連がございますので、併せてご報告をさせていただきます。資料4、資料5をご覧ください。10月1日にプレオープン10月15日に開所式を行いました街なか子育てひろばでございますが、従来運営しておりました街なか子育てひろばに比べ、広さが約1.5倍。収容人数も50組100人から72組の144人と約1.5倍の増となっております。受け入れ人数の約50%増を見込めることにより飯塚子育て支援センターは9月30日をもって廃止となっております。街なか子育てひろばの開所式には、飯塚本町東地区の区画整備事業の中の1つの事業ということで街びらきフェスタと併せて行っております。新菰田保育所の年長児約40人によります風船飛ばしやステージでのパフォーマンスを披露しております。次に資料⑥をご覧ください。

街中子育てひろばの10月までの利用状況でございます。移転前の9月と移転後の10月の利用状況をみますと約2.7倍の量となっております。以上簡単ではございますが、議事の③と④のご報告を終わります。

(委員長)

③の飯塚子育て支援センターの廃止と④の街中子育てひろばのご報告をしていただきました。質問、意見はないでしょうか。

この新しい街中子育てひろばですが、広報等でこのような資料とかパンフとか配布されたのでしょうか。

(事務局)

市報掲載及び、各支援センターに新しいパンフレットを配布しております。

(委員長)

直に利用者からのお声などは聴かれましたか。

(事務局)

現在アンケートの方を取らせて頂いてる最中でございます。12月いっぱいにかけて、街中の活性化と併せたアンケートになっております。

(委員長)

わかりました。それでは皆様方、ご了承ということでお願いします。

(事務局)

今の案件で補足をさせていただきます。直接お声を聴いたかということでございましたが、利用者の皆様にはおおむねご好評をいただいております。

新しいということそれから従来に比べ 1.5 倍の広さということで、なかなかこのような広さの支援センターというのは街中にはありませんので、あちこちから視察にもおいで頂いているという状況です。

今後もより喜んでいただけるような取り組みを積極的にしていきたいと考えております。

(委員長)

有難うございました。次に⑤の平恒、楽市の統廃合についてお願いいたします。

(事務局)

楽市、平恒の統廃合につきましては、平成 25 年の第 4 回あり方検討委員会におきまして、合併特例債が 5 年延長され活用することができる事を前提に合併特例債の活用を検討している、他事業との調整について関係各課と協議を行いながら、また小中学校の再編整備の状況も考慮しながら平成 30 年度から新設での運営となる旨の報告をしていたところでありましたが、この資料 7 にもありますように、今新庁舎が建設をされております。平成 29 年度に完成をいたしまして、引越しが 5 月になる予定です。

穂波庁舎にあります教育委員会関係が新庁舎に移動してきます。その後、空いた穂波庁舎の活用をしながら穂波公民館を移転する方向で計画がなされているところであります。それに伴いまして、穂波公民館の跡地を整備し、平恒・楽市の統合保育所をそこに建設ということでの計画が進められている状況であります。体育館はそのまま設置、横にある図書館の 1 階を保育施設、2 階は文化財の展示物等等が置いてありますので、それにつきましては今協議中でございます。施設の有効利用ということで関係各課で計画が進められている状況でございます。なお、スケジュールにつきましては平成 29 年度に穂波庁舎の改修工事、30 年度に内装の工事、31 年度には穂波公民館・穂波図書館の移転。平成 32 年度に平恒、楽市保育所の建設工事、33 年度に保育所が開設されるということでご報告をさせていただきます。

(委員長)

今のことで何かご質問、ご意見はございませんか。

(委員)

今後、統廃合に伴って、定数はどうなるのか。また、保育士不足の問題が耳に入りますが、充足しているのかどうか。ソフト面で、今後どう考えているのかお示し頂ければと思います。

(事務局)

現在、楽市が 120 人、平恒が 60 人の定員となっております。新保育所につきましては合わせた数の 180 人定員で考えております。保育士の確保につきまして公立は臨時保育士を募集しています。6 月にはスーパー等での掲示をしてもらいました。常勤およびパートでの雇用も募集をしています。また、統合することによって、所長が 1 名。主任が 1 名となり、今まで通りの職員配置を考えています。

(委員)

現在 120 人、60 人の定員はどうなっていますか。

(事務局)

樂市が 90.8%、平恒は 108.3%となっております。10 月 1 日現在の数でございます。11 月になり樂市が若干増え、91.7%となっております。

(委員)

33 年度は幼稚園がこども園にかわるところが 2 園あって飯塚市全体で定員がかなり変わると思います。現在は待機児童がいる状態ですが、この時点になると飯塚市全体であがってくるので、180 人の定員を変更することもあり得えますか。

(事務局)

その時の状況を見まして定員を検討したいと思います。

(委員長)

他にございませんか。

(委員)

関連ですが、現在待機児童がいるということですか。待機児童がいるなら定数を増やし、いないなら定数を減らすというふうにニーズに合わせて考えた方が良いのではないのでしょうか。

(事務局)

定数 180 人、面積的には 200 人は入れるということを前提に考えております。

(委員長)

では、詳細はその他のところでということですので、了承ということでもいいでしょうか。

(「はい」という声あり)

(委員長)

飯塚子育て支援センターについての説明をお願いします。

(事務局)

飯塚子育て支援センターにつきまして、資料 8 が 27 年度までの利用状況で、資料 9 が 28 年度の 10 月までの利用状況となっております。委託をしております筑穂子育て支援センター、庄内子育て支援センター、潁田子育て支援センターでございますが若干利用状況の悪いところがございます。それぞれに子育て中の親子の触れ合いの提供、子育ての悩みを気軽に相談でき、情報を共有できる場の提供に取り組んで頂いているところがございます。29 年度も市としましては現在委託をしております潁田子育てサポートジャム、ちくほ子育てネットワークかてて、あすか保育園さんの方に引き続き委託をお願いしようと思っております。委員の皆さんのご検討をお願いします。

(委員長)

以前、支援センターの視察にいきましたね。地域性もあり、田舎の方にもあり利用が少ないのではと思ったような気がします。

(事務局)

そこが筑穂です。

(委員長)

そうでしたね。どうですかみなさん。

(委員)

指定管理者ではないのですか。

(事務局)

指定管理ではございません。業務委託になっております。

(委員)

筑穂子育て支援センターの利用が少ないことはわかります。他のセンターは良くなっている。筑穂だけを見ると以前ピークが5000人程あって、23年度からグンと半減している、何か理由があるのかと素朴な疑問と、地域性という言葉の意味が何をもちいて地域性というのかよく理解できない、減少しているのは子どもの数が減っているのでしょうか。

(事務局)

子どもの数も減っているとは思いますが、25年から業務委託をしまして、それまでは公立でしたので、そこが地域性かもしれませんが、公立だから数も多かったのではと思われます。センターの宣伝等もできていなかったのかと考えます。また、街なかの利用が増えていますので、街なかの方に行かれたというのものもあるかと思えます。庄内、穎田はその地域で活動されている子育て団体の運営ですので、地域の方の呼び込みというのが多かったと思われます。その後10月は若干ですが増えているというのが現状です。あとはイベントや独自の英語教室等、行っているものを取り入れて支援していこうと話しています。地域に根差したセンターでありたいと考えています。

(委員長)

支援センターの3団体が切磋琢磨するような意見交換会など集まる場はありますか。

(事務局)

年に10回の育児講座があります。そのあとに各支援センターが集まって状況報告、反省会をやっております。

(委員長)

事務局の方からも色々ご指導頂いているようですので、しばらくこのままで様子を見るということで、他にご意見はございませんか。

(「なし」という声あり)

それでは宜しく申し上げます。ではこの件につきましては了承ということでよろしいですね。

では、次のその他にまいります。事務局申し上げます。

(事務局)

4月1日の待機児童、未利用児童と言いますが48名おりました。現在11月1日では135人になっています。当初から飯塚市の私立保育園の代表者の方6人と意見交換会を行っており、待機児童の解消に向けてたくさんのご協力、ご意見頂いております。

9月の補正予算で「保育士就職緊急支援事業」を計上しました。10月1日から事業実施になったのですが、就職をされる保育士さんに12万円の助成金を出す、内2万円は私立保育園から出すという助成金です。また飯塚市に住民票を移された方には上限20万円の引越し費用を助成する事業も行っております。まだ申請はないですが、10月・11月で採用したという話を聞いていますので、何人かの待機児童の解消には繋がった

と思います。まだまだ周知不足です。新聞には掲載されましたが、今後どんどん周知をして来年度も予算の計上をしておりますので、待機児童の解消に向けていきたいと考えております。

次に公立保育所の臨時保育士さんがかなり不足しております。そこでスーパー等に募集のチラシを貼らせていただいております。今までは常勤の保育士ばかりの募集でしたが今回からはパートの雇用も併せて行っております。2~3人ずつの応募で難しい現状があります。併せまして無資格で、保育士の支援をする支援員の雇用を考えています。加配の保育士を通常のクラスに配置すると、0歳児では3人の保育ができます。しかし、子どもたちにとっては慣れた保育士ではなくなるので負担も大きいので、徐々に移行していこうと考えております。他に食事の準備、遊具の掃除、午睡の準備などをする補助員の募集も考えております。また新卒の保育士さんに飯塚市に目を向けて欲しいということで、短大回りを2回行いました。福岡市を中心に北九州市も合わせ16校、大学、短大、保育養成校を訪問しております。第二弾としまして新卒の学生さん対象に合同の面談会を行う旨のご案内を行っております。8月に保育園の見学会の予定を案内しております。なかなか結果には結びつかないとは思いますが、地道に行動を起こさなければという事で以上の事を実施しております。

(委員長)

今の説明に対するご意見、ご質問はないでしょうか。

(委員)

待機児童が発生している原因は保育士が不足しているからという認識で良いでしょうか。

(事務局)

保育士が増えると待機児童の解消には繋がるとは思いますが、135人になった経緯はこども子育て新制度ができ入所要件が緩和されたことによると思います。0歳児1歳児の入所が多くなっております。

(委員)

間口を広げたから待機児童が増えたということですか。

(事務局)

それもありますが、保育士不足もあります。

(委員)

いろいろな要因が重なっているのですが、保育士不足を解消すればどのくらいの待機児童の解消ができるのか、そのような試算からすればいいのではないかなという気がします。利用者側の思惑と入所がマッチしない部分もあるのでしょうか。135人の待機児童が発生している要因というものをもう1回整理すれば対策もわかりやすくなるのではないのでしょうか。

保育士不足の原因は賃金や労働条件が悪いとは聞きます。労働条件で何らかの要件があるのではないかと個人的には思うのですが、不足している要因を整理されたら良いのではないのでしょうか。一生働くとしたら10万円を貰って飯塚市に行くかと考えたらそんな単純な問題ではない。もっと現場の保育士の声を聴いて、なぜ保育士がたり

ないのか、働きたくないのかヒヤリングなど調査すると効果的でしょうし、有資格者じゃないとできない仕事、資格がなくてもできる仕事があるのではないかと思います。

掃除とか洗濯とか配膳とかあと片づけだったら資格がなくてもできるし、もう少し柔軟に考えることができないのかとは素朴に思います。

(委員)

毎年、このような待機児童の数ですか。

(事務局)

27年度に新制度になったのですが、27年4月1日は18人でした。3月には116人になっております。4月には新しくなりますので、そこで数字は変わります。

赤ちゃんが生まれますので0歳児がどんどん増えていきます。産休明けの1歳児もやはり増えていきます。

(委員)

実際にこの135人の待機児童の方たちはどうされているのですか。

(事務局)

一時保育、幼稚園、認可外保育所に通われたり、おばあちゃんがみられている状況です。135人の実態調査、現状把握をしたいと思い本日発送の予定です。

(委員)

やむ負えない状態なのかと、思ったりもするのですがどうなのでしょう。

(事務局)

お母さんにすれば働きたいという、切羽詰まった状態であると思いますので、保育士がする仕事、保育士外でもできる仕事といったところの予算を来年度は要求しているところです。

(事務局)

135人の要因は何かという質問がありましたが、一口で言うと保育士不足という事に尽きると思います。このような状況になったのは先ほどから申しますように、27年度に入所条件を緩和されたことです。今まで預けられなかった子どもが預けられるようになったのですから、申請に来られます。来られれば行政としましては入所できるようにするというのが責務と思っております。しかしながら保育士がいないという事で、結果、入所ができないということです。近くにおじいちゃんおばあちゃんがいるとか、育休を延長できるという方はお願いしていますし、それもできない方には一時保育で何とかしのいで頂いている、また就職をされる方には就職を先延ばしあるいは断念される方もおられると考えております。それを踏まえてできる事をやっております。

今日も大学を6校ずつ訪問して参りましたが飯塚出身の学生さんがほとんどいない状況です。福岡市、北九州の周辺の大学でも飯塚出身の学生は1人いるかいなか、多くて3人。昔は10人程いたという話です。なおかつ地元志向が強く、卒業後は出身地に戻るとのことです。一部福岡市に就職する学生もいるという事ですが、残念ながら飯塚市まで来ようという学生がいない、厳しい状況です。福岡市の給料が高いということもあるのですが、もう1つは新しく園の開園が続いています。飯塚市以上に待機

児童がより厳しいということで福岡市の方でも小規模保育園を含めて設置を急いでいる状況があります。飯塚市で就職しようという状況は厳しい。また潜在保育士に向けての発信をスーパー等にチラシを掲示しましたが反応がない。

保育士の待遇改善が必要ではないかという事で、保育に関わらない支援員を配置しようとしているのですが、人が集まらないという状況が続いています。厳しいのは現場ですので、環境改善、職場の改善も考えております。

(委員)

先ほどの平恒と楽市の合併で、折角新しい箱を作るのに定員をそのままというのは、何か矛盾してませんか。

(事務局)

その時の待機児童の状況により柔軟に定数を考える必要があると思います。ただ、建物の容量だけは200人は受入れられる施設で整備をする予定です。

来年4月には幼稚園が1園こども園に、その翌年には新たに2園こども園に移行され保育園の定員が増える見込みで準備を進めています。これである程度は受入れる容量が増えます。統合保育所が33年の開設予定となっておりますので整備が進んだ後の統合になり、今よりは状況は良くなると思われます。

(委員長)

お金の問題ではないと思います。全国的に東京では1万円くらいの住宅補助がでています。飯塚に限らず宗像の方でも住宅補助を出しております。それでもなかなかない。保育園の量は増えていますが養成校は保育士が減ってきている状況にあるのでどうしても足りないという状況です。

(事務局)

仕事量もかなり増えています。事務作業も増え、パソコン使って負担を軽減しようとしていますが、保育士は現場の仕事が大変でなかなかパソコンに向かうことはできない状況です。潜在保育士は県も研修をおこなっておりますが年々減って公立でも潜在保育士を入れましたが、常勤で働くことはできない。40～50歳の保育士が昔の保育とはかなり違うという事で、パートでの希望をだされます。ニュース等でみる保育士のイメージが悪く、賃金が低い、保護者対応が大変というイメージがあると思います。

(委員)

県が計画しているのが奨学金制度の貸付という形で29年4月から通るだろうといわれていますが、県として保育士になる養成校にお金を貸付けるそして学費を払って、5年間勤めれば返さん。保育士が不足しているなら保育士になる人を増やす。結構、奨学金を貰って就職して自分で給料から払っている保育士もいます。

(委員長)

有難うございました。

(委員)

135人の待機児童を解消するためには、保育士不足というのは漠然としているので、何人の保育士が不足しているのですか。

(委員)

保育士が不足しているから定員を増やせないという事ですか。

(委員)

保育士がいれば定員以上入れられます。

保育士がないからこれだけしか受付られないということです。

例えば0歳児は職員1人で3人保育できる。

保育士が足りないとは雲をつかむような話なので、何人足りないのかわからない。

(事務局)

6月1日で61人でした。その時に保育士が何人必要だろうかと単純に計算をした結果31人でした。単純に倍の待機児童だから倍の保育士とはならないと思います。

(委員)

養成校や通信でも勉強はできますが、保育士資格は取れない。試験を年に2回受ける機会がありますが難しいです。

(委員長)

保育士支援員というのは加配を支援するという事ですか。保育士は大事な仕事です。資格もない人にどこまで任せていいのかという問題が片方にあると思います。誰でもできる仕事ではないと思うのです。だから本当に掃除だけするのか、何をするのか。加配は技術と能力がないとできない仕事です。加配に支援員を付けて、加配を担任にするとというのは勘違いをしていると思います。どこまで保育士がやらなくてはならないのか、やみくもに人数を増やして資格がなくても良いというのはとても危険です。

(事務局)

加配になる保育士は専門性をもってより経験を持った人でないと難しいです。

(委員長)

加配の説明をお願いします。

(事務局)

発達を見守らなければならない子ども、障がいがある子ども、そういう子どもの補助をしていく保育士です。それには経験が必要になってきます。加配に配置して一緒に組んだ職員と話を合わせていきながら保育します。

(委員長)

有難うございました。いろいろ意見を聞いて良かったです。では、案件は全部終わりましたので次回の開催について事務局からお願いします。

(事務局)

次回の開催についてでございますが、協議をして頂く案件が出ました時にご参会のご案内をさせて頂きたいと思います。それでよろしいでしょうか。

(委員長)

ではこれもちまして第1回あり方検討委員会を終わります。有難うございました。

<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回幸袋子ども園移譲に関する三者懇談会概要 ・ 第3回 々 年間行事概要 ・ 街なか子育てひろば H28年度10月までおよび10月以降の利用状況 ・ 子ども・子育て支援法施行規則 ・ 保育の必要性の認定 ・ 穂波地区公共施設整備計画（案） ・ 飯塚子育て支援センター利用状況
<p>公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者なし)</p>
<p>その他 (非公開理由等)</p>	